



佛 專 を 壽 ぐ

原るに夫れ金堂の設置は須達之が縁を開き、門樓の榮構は祇陀之が跡を垂る。而して大法の久しく住するは職として三寶の鼎持するに由り、三寶の住する所は實に學府なりとす。故に學府の建立たるや最要にして、之を莊麗にし環境を淨潔にせば、涅槃常住の月は自ら高く懸て法性不變の理を照し、般若清涼の風は徐ろに吹て娑婆妄幻の塵を盡す。然れば即ち假令闡提無信の輩と雖、足一たび斯の學府に踏入すれば焉ぞ猛然として覺悟せざるものあらんや。抑も我が佛教專門學校は淨土宗立高等教育の機關として先に洛東鹿溪の聖境にあること三十年、宗門教學史上燦然たる光輝を放ち、現下一宗に於ける幾多の龍象は皆その育成にかゝるなり。然り而して近時校運の隆昌彌々旺んにして、校舍の狹隘と設備の不足を告ること久しく、先に移轉増築の緊要に迫られ關係者一同熱誠以て之が實現に盡瘁せるが幸に斯の洛

北鷹野の好適地四千餘坪を獲得して、本春定期宗會の協賛を得て校舎移轉増築の議を決し、設計風に成り本年七月五日を以て工事着手式を舉行し、棟梁、監督、技師、建築委員等關係諸氏の献身努力に依て工程の進捗著しく、本月本日を下して茲に上棟の式典を舉行するに至れり。嗚呼歡天喜地寔に宗門教學の幸慶何物か之に如かん乎。時や將に新秋白露。清氣衣笠の翠巒に滿ち、梵唄樂只の金風に和す。今恭しく香水を散洒して地上を淨潔にし、道場を莊嚴し、丹心至誠を捧げて佛天の加被冥加を仰請し奉る。仰ぎ願くは諸天善神は法幢を卓立して三寶を擁護し、十方薩埵は智光を照耀して學府を守護し給ひ、工事速疾に成滿して無衰無變。眞に大法弘傳の根元たり。永へに宗風の宣揚と念佛流通の理想學府として建立常然ならん事を謹て疏す。

維時昭和八年九月十二日

淨土宗立佛教專門學校移轉増築委員長 小林 瑞 淨敬白